

解答

一

- (一) a そら b とり c わき
(二) 1 エ 2 ア
(三) あ 5 い 3 う 1
(四) 不気味さがあり、危険や恐怖がそのまま存在し、登場人物は悪者や良い人に区別されることもなく、人間くさい世界である点。

(五) ⑦ 想像力 ④ おもいやり

(六) フィンランドに興味を持ち、来るきっかけとなった

(七) ① 自分が偏見の目で周りを見ていた〔こと〕

(八) ② 自分のよくゝまう気持ちゝ必死に自分ゝ悲しい感情

(九) 自由を失いゝ生活を送る私ゝいつも本音のゝいてしまう私

(十) 自由は憧れだれかを崇拜しても、それは他人の真似に過ぎず、自分の頭で考えて自分自身を見出すことができなければ、自らを確立することはできないということ。

(十一) 私は中学校生活で自分を見失いかけていたが、フィンランドで裏表なく本当の姿で話せる友達を得た。友達との交流を通じ、偏見の目ではなく、自分の判断に基づいた見方をする必要性や、自らの頭で考え人間らしく生きることを学んだ。

(十二) ① 垂れ ② 最高潮 ③ 浴びる ④ 治安 ⑤ 等身大

二

- a 地域に開かれ人と人がつながっていく b 公園 c 画一化 d 孤立
e 人と人が出会う接点 f 調和 g 権威の象徴 h 普通の人々
i 空間的な広がり j 時間の流れ k 規定 l 人々の未来に向かう

解説

一

(六) 本文のはじめに、小学四年生の私がムーミンの本に夢中になった様子が描かれています。やがて興味の先は作家の故郷であるフィンランドに向かったことから、フィンランド留学のきっかけになったという内容を書き表します。

(九) 後半に述べられている内容を参考にまとめます。自分が一つの人格であることを知り、自分自身を見出すことができれば、ほんとうの自由はえられないということを踏まえてまとめます。

二

- a・b 二段落目にある『公園のような建物』で始まる妹島さんの発言に着目して答えます。
k 空欄kの直前にある「建築が人々の生活」に着目します。第五段落のはじめに「建築は人々の生活や価値観によって変化するが、逆に建築が人々の生活を規定することもある。」という一文があるので「規定」が答えであるとわかります。

最後の段落に、「建築がこの先どうなるかわからないけれど、人々の未来に向かうものをつくりたい。」という一文があり、妹島さんの主張が述べられているのでこの箇所から答えます。